

# 防災教育用ワークシート

## 基礎編



# ワークシートの手引き

基礎編は、小学校中学年でも実施できるように、ルビを打っています。



○各シートは家庭に持ち帰り、学校での学習を家族との話し合いへとつないでいく。

## ～災害について知ろう～（見開きページ）

- ・災害は、様々なものがあります。自然災害とは何か、身近な災害について確認することから始めます。近隣で災害があった場合は、その際に新聞記事などの資料を残しておく効果的です。
- ・ここでは、家庭に持ち帰り、家族と話すことが重要です。（宿題として）

## ～地震に備えよう～（見開きページ）

- ・KYT（危機予知トレーニング）の技法を使い、絵から危機を想像させます。危険箇所を見つけるという予見能力を養います。（静岡大学防災総合センターの資料を活用）
- ・家庭と協力して、家の中で危険箇所を調べましょう。

## ～‘もしも’の時のために①～（見開きページ）

- ・①では、災害への対応を考えさせます。特に、「一人でのお留守番」という設定で、自分で自分の身を守るという視点を取り入れます。

## ～‘もしも’の時のために②～（見開きページと切り取り資料）

- ・②で、ゲーム的な要素を取り入れます。持ち出し品を選びます。なお、Gはゲームでの単位です。災害への対応を考えさせます。

## ～避難訓練（火災）～

- ・従来から行われている避難訓練（火災）用の資料です。訓練後には、こうした振り返りが必要です。

## ～避難訓練（原子力災害）～

- ・近隣に原子力関係施設がある場合、こうした訓練を行う場合があります。まずは、基本的な知識を教え、正しく意識させることが重要です。

## ～防災の学びから得たもの～

- ・一連の防災学習を行った後、これまでの学習をふりかえり、今後の地域防災のリーダーとなる決意を書かせましょう。
- ・新聞記事や本から防災の記事をスクラップして、その感想を書かせましょう。

# さいがい 災害について知ろう

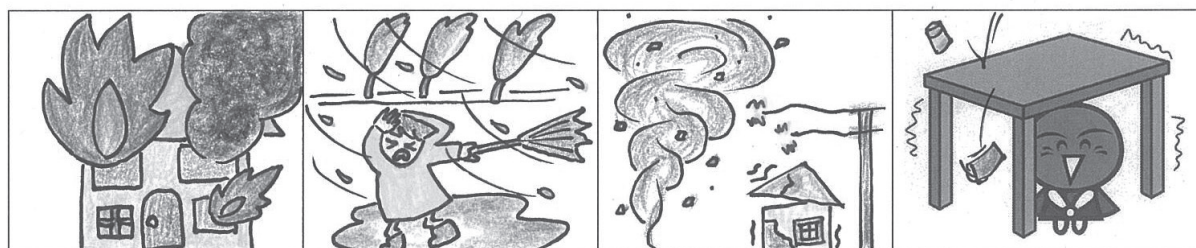
## ★「災害」とは？

わたしのいのちや身の安全、くらしを支えるまちやものなどが自然現象や人が起こす失敗などで奪われることと、その被害をいいます。

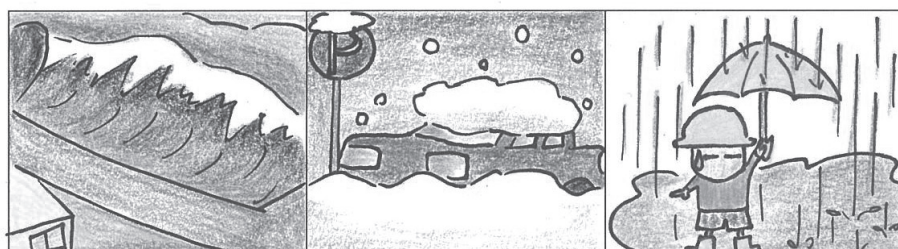
自然現象によるものを「自然災害」や天災、人が起こすものを「人為災害」や人災、と分けることができます。

自然現象を発生しないようにすることは難しいため、力が大きい自然現象が起きると、多くの方が被害を受ける「大災害」になる危険が高くなります。

◎次の自然災害の絵は何と呼ばれているでしょう？下の口から選んで（ ）に書きましょう。



( ) ( ) ( ) ( )

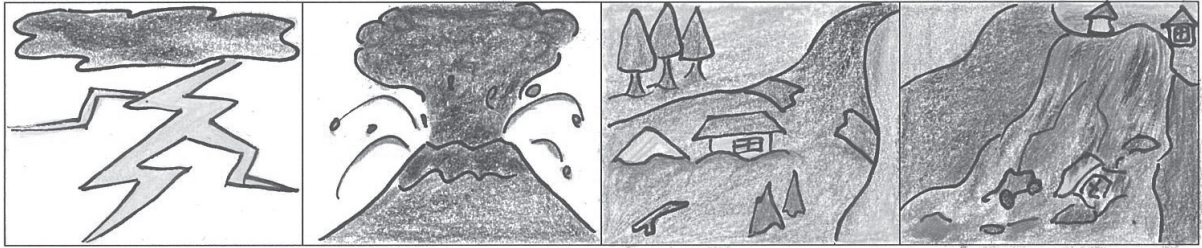


( ) ( ) ( )

- |       |     |
|-------|-----|
| ・噴火   | ・津波 |
| ・台風   | ・地震 |
| ・火事   | ・雷  |
| ・大雪   | ・洪水 |
| ・竜巻   | ・大雨 |
| ・土砂崩れ |     |

次のページにも続きがあるよ！





( ) ( ) ( ) ( )

◎ あなたが住んでいる地域では、どの自然災害が起こる可能性が高いですか？起きやすいものを赤○で囲みましょう。

また、その中から1つ選んで、その自然災害が起きたらどうしたらいいのかを書きましょう。

選んだ災害 ( )

どうする？…

※赤○で囲んだものすべてについて、災害が起きたらどうしたらいいのかをお家の人と相談しておきましょう。

☆どんなことを相談しましたか？☆

メモしておこう！





# じしん そな 地震に備えよう

◎下の絵はあるおうちのいつもの生活のようすを描いたものです。

もし、大きな地震に襲われたら、どんな危険があると思いますか？

①危ないと思うところに赤○をつけてみよう。

②なぜ危ないのか、下の口<sup>しかく</sup>に書いてみよう。

来る直前…



イラスト：たかやまみほ

資料提供：静岡大学防災総合センター

(例) ○<sup>ほんだな</sup>本棚のたくさんの本が<sup>お</sup>落ちてきそうです。

○

○

いくつを見つけることができたかな？



おうちに帰ったら、自分の家の中にも危険なところがないか調べてみよう。

(例) ○<sup>ほんだな</sup>本棚のたくさんの本が<sup>お</sup>落ちてきそうです。

○

○

じゃあ、どうしたらいいかな？



○

○

## もしも'の時のために…①

★<sup>さいがい</sup>災害は<sup>とつぜん</sup>突然やってきます。それは学校で勉強している時？<sup>とうげこうちゅう</sup>登下校中か  
も？家で<sup>ね</sup>寝ている時だったら？そして、1人で<sup>るすばん</sup>留守番をしている時に起  
こったら？いろんな場合を考えて、安全に、速やかに<sup>すみ</sup><sup>ひなん</sup>避難できるように、  
いつも考えておきましょう。

あなたならどんな行動を起こしますか？

まず何をする？どこに逃げる？などを書いてみよう！

◎5つの場合で考えてみよう。

①学校で災害が起きたら？



②登下校中に災害が起きたら？



③家に家族と一緒にいる時に災害が起きたら？



④家に1人でいる時に災害が起きたら？

⑤外出中（知らないところで）に災害が起きたら？



※いざという時のために、おうちの人と「まああ待まちあわあせあ場あ所あ」をあ決あめあてあてあおあくあとあいあいあですあねあ！

◎おうちの人と決めていることがあったら書いてみましょう。



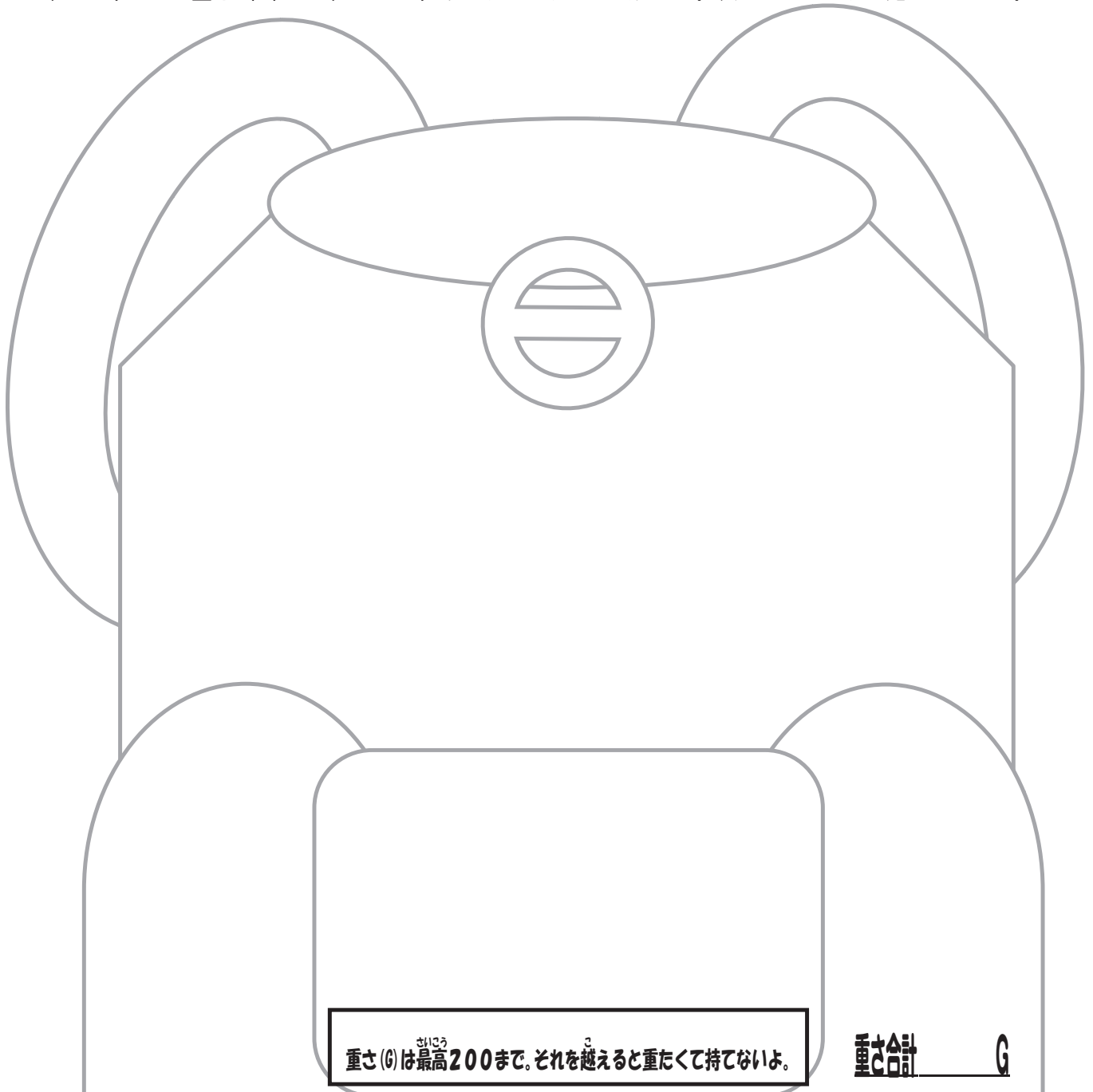
## ‘もしも’の時のために…②



★日ごろ何気なく使っているものの中には、災害時にも必要なものがたくさんあります。災害を乗り越えるのに必要なものは何で、どのくらいの量が必要でしょうか？調べたり、お家の人と相談したりしておきましょう。

◎避難時の持ち出し品を準備しておこう。

・やってみよう；重さ(G)に気をつけて、リュックサックに入れるよ。絵の上にカードを貼っていこう。



(例) 下のカードの組み合わせだと、重さは…

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{ノートパソコン} \\ \hline 70\text{G} \\ \hline \end{array}
 +
 \begin{array}{|c|} \hline \text{毛布} \\ \hline (\ )\text{G} \\ \hline \end{array}
 +
 \begin{array}{|c|} \hline \text{テレビ} \\ \hline 100\text{G} \\ \hline \end{array}
 = 230\text{G}$$

これじゃ200Gこえてし  
まうね。重くて持てないよ。



※線に沿って切り取ろう※

かんづめ  10G	かんづめ  10G	かんづめ  10G	ビスケット  10G	ビスケット  10G	ビスケット  10G	カップラーメン  10G	カップラーメン  10G
おかし  15G	おかし  15G	水 1L  20G	水 1L  20G	水 1L  20G	粉ミルク  15G	粉ミルク  15G	カップラーメン  10G
洋服  25G	下着類  15G	くつした  10G	毛布  60G	タオル  10G	タオル  10G	タオル  10G	レインコート  20G
ティッシュ  1G	ティッシュ  1G	ティッシュ  1G	トイレットペーパー  10G	トイレットペーパー  10G	トイレットペーパー  10G	いつも飲む薬  3G	薬品セット  20G
軍手  10G	マスク 10枚  5G	カイロ (5個)  10G	筆記用具  10G	お金 (小銭)  10G	ガムテープ  10G	はさみ  1G	ノートパソコン  70G
携帯充電器  5G	せっけん  1G	ずきん  10G	ラップ  10G	ロープ  30G	電池  10G	ビニール袋  10G	テレビ  100G
G	携帯電話  5G	携帯ラジオ  20G	ナイフ  1G	ローソク  1G	懐中電灯  10G	ライター  1G	マッチ  1G



ここには、あなたが思いついた  
必要なものを書いてね!

《資料》

<p style="text-align: center;"><b>非常食・水</b></p> <p>かんづめ    かんぱん    ビスケット    インスタントラーメン    粉ミルク    飲料水</p>	<p>とうめん ひじょうしょく 当面の非常食として</p> <p>かぶんくらい 3日分位 があるとよい。</p> <p>みず 水は1人3リットル。</p>
<p style="text-align: center;"><b>衣類</b></p> <p>下着類    くつした    毛布    タオル    手ぶくろ    携帯レインコート</p>	
<p style="text-align: center;"><b>安全具・緊急薬品</b></p> <p>ヘルメット(ずきん)    救急薬品    ガーゼ    バンソウコウ    包帯    三角巾</p> <p>消毒薬    きず薬    湿布薬    胃腸薬    目薬</p>	<p>じびょう くすり 持病の薬がある人は</p> <p>かぞく みんなでかくにん 家族みんなで確認して</p> <p>かなら も 必ず持ちだそう。</p>
<p style="text-align: center;"><b>道具類</b></p> <p>携帯ラジオ    懐中電灯    電池    マッチ(ライター)    せっけん    現金    預金通帳・印鑑</p> <p style="text-align: center;"><b>貴重品</b></p> <p>現金    預金通帳・印鑑</p> <p>こぜに おお 小銭を多めに!</p>	<p>れんらく じょうほうにゆうしよ 連絡・情報入手のため</p> <p>けいたい でんわ に携帯電話やその</p> <p>じゅうでんき も けこ 充電器、持ち運びしや すいパソコンなどが</p> <p>あると便利だよ。</p>

※せっかく用意しても、保管場所が開けられなかったり、崩れたところに  
紛れ込んで見つからなかったりして使えなくなることがあります。

どの場所にどのように置いておけばいいのかも考えましょう!

◎みなさんのお家ではどこに置いておきますか?

家族みんなで話し合っ書いてみましょう。





◎火はあっという間に燃え広がります。

安全に、早く火の元から逃げられるように、先生の話（放送）を最後まで聞いて避難しましょう。

★避難時の約束「おかしも」→4つの約束です。続きを書いて確認しよう。

①・・・お

②・・・か

③・・・し

④・・・も

★今日の火災避難訓練について

○出火場所【 しゅつかばしよ 】

○避難場所【 ひなんばしよ 】

○避難経路（どこを通るの？大まかに示してみよう。）  
ひなんけいろ

( ) → ( ) → ( ) → ( )

○避難訓練を振り返って…

☆避難訓練を経験してみて気づいたこと、感じたことを書いてみよう。

※火災で怖いのは「火」と「煙」です。火災では、この「煙」を吸って「一酸化炭素中毒」になり、亡くなった方も多くいらっしゃいます。煙を吸わないように避難するにはどうしたらよいのかも考えてみましょう。



ひなんくんれん げんしりょくさいがい  
避難訓練～原子力災害～

◎原子力災害が起きた場合、そこから放出される放射線から逃れなくては  
はいけません。放射線は目には見えないので、どんな対応をすればよい  
かをイメージしておくことが重要となります。



★放射線から身を守る3カ条

- ① 距離をとる。(離れる)・・・少しでも遠くへ離れましょう。
- ② 受ける時間を短くする。・・・早く避難しましょう。
- ③ 屋内に入るなどしてさえぎる。・・・外に出ないようにしましょう。

☆みんなができること☆～右下の□から選んで書いてみよう！～

- ① ( ) の服を着る。
- ② ( ) をつける。
- ③ ( ) や ( ) を閉める。
- ④ ( ) や ( ) をとめる。
- ⑤ ( ) や ( ) を洗う。

・エアコン ・ドア  
・マスク ・手  
・換気扇 ・窓  
・長そで ・顔

※待避や避難の考え方

放射性物質を扱う施設で事故が起こり、周辺への影響が心配される時には、市役所、支所、あるいは  
県や国から避難などの指示が出されます。周辺のデマや噂などに惑わされず、混乱しないようにすること  
が大切です。テレビやラジオなどで正確な情報を得ること、家族や先生などの指示をよく聞き、落ち着い  
て行動することが大切です。

☆避難訓練を経験してみて気づいたこと、感じたことを書いてみよう。

## 防災の学びから得たもの

これまでの防災の学習を通して、どんなことを学びましたか。そこで、次のときはどうしますか。

- ① 一人で留守番をしている時に、大きな地震がきました。  
さて、どうしますか？



- ② おうちの人と決めていることがあったら書きましょう。





防災に関する本や新聞から、記事をスクラップしましょう



ここにはりましょう。

記事からどんなことを学びましたか？

○

○